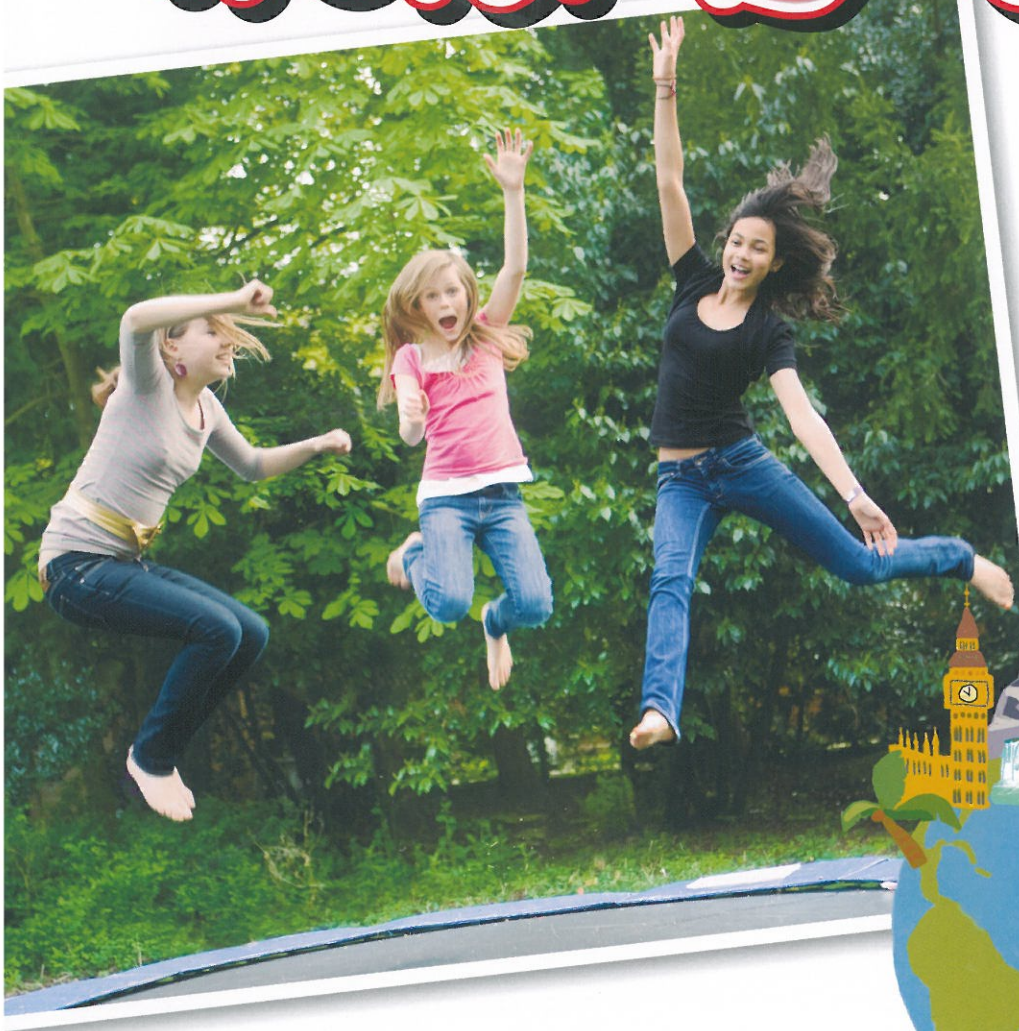




# JOYFUL 2

ジョイフルワーク

# WORK BOOK



|       |     |      |
|-------|-----|------|
| Class | No. | Name |
|-------|-----|------|

新学社

# 留学体験記

カルガリー(カナダ)  
Calgary CANADA

中学1年生のときから  
バレエ留学をしている福田姿蓮さん

海外留学にあこがれている人、少なくないんじゃないかな？ カナダに6年前(中学1年生)から留学されている・姿蓮さんと、ロサンゼルスに留学した経験のある・裕菜さんが体験談を話してくれたよ。



ホストファミリーの  
こどもたちと

私は中学1年からカナダにバレエ留学しています。出発前は一人で海外へ行くことへの不安や怖さもありましたが、それよりも自分の目標に向かって頑張りたいという気持ちの方が大きく、自分の意思で留学を決意しました。留学当初、私の英語力はゼロに近い状態でした。授業はもちろん周囲の人たちとコミュニケーションがとれず、苦労しました。しかしそんな私にホストファミリーや学校の同級生、バレエスクールの友達に優しく接してくれました。私が体調を崩した時にホストマザーが病院へ連れて行ってくれたり、おかゆを作ってくれたり、またバレエコンファールの出場前には、食事にも気を配ってくれたりしました。幼い私を寂しい気持ちにさせないよう、常にサポートしてくれたホストマザーに心から感謝しています。おかげで深刻なホームシックにもなりません。そして3ヶ月たった頃には、徐々に英語が理解できるようになりました。



留学先のみんとハイキング

当時の1日は、毎朝7時半に家を出て公立中学校のESLクラスで、他国の留学生と一緒に通常授業を受け、午後はバレエスクールへ移動し13時半から20時過ぎまでレッスンを受ける毎日でした。レッスン後は一人でシティバスと電車を使って帰宅しなければなりませんが、ラッシュと重なりいつも満員でした。ホームステイ中に一番大変だと感じたのは、このバレエスクールからの帰り道でした。カナダの冬は気温が-40℃まで下がることもあります。暗く寒い中、一人で帰る心細さを支えたのは、ホストマザーの美味しい夕食でした。

この一年目の経験は、私をさらに強くしてくれました。だから今でも辛いことがあると「12歳の時の私が乗り越えられたから、今回も大丈夫!」と自分に言い聞かせます。



留学してもうすぐ6年が経とうとしています。現在はカルガリーにあるアルバータバレエスクールに在籍し、半年後に卒業を控えています。卒業後はアメリカの演劇学校に進学し、ミュージカルダンサーを目指したいと考えています。

私がここまで来られたのは、ホストマザーや現地の友達、そして私の留学を応援してくれた家族がいたからです。今後も初心を忘れず、さらなる目標へ向かって努力していきたいと思っています。



## ホームステイの魅力は?

### 現地の生活と言葉が学べる

ホストファミリーの一員となることで、現地の生活を体験できるとともに、生きた現地の言葉を身につけることができる。

### 現地の友人ができる!

ホストファミリーや学校の友人だけでなく、ファミリーの友人や親戚、近所の住人など、現地のさまざまな人々と友達になれる。

### ひとり暮らしより安心!

海外の生活は文化や習慣の違い、言葉や治安の問題など不安をともなうもの。そんなとき、ホストファミリーが強い味方になってくれる。